

中小企業景況情報

2024年 10月～12月期実績
2025年 1月～3月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況

2024年 10月～ 12月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う 経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

[調 査 基 準]

- 1.調査方法 商工会の経営指導員による訪問調査
- 2.調査時点 2024年11月15日
- 3.調査対象期間 2024年10～12月期実績および2025年1～3月期見通し
- 4.回答企業内訳および回答率

業種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地 区 名
製造業	29	29	100%	朝日町・入善町 上市町・立山舟橋 富山市南・富山市八尾山田 富山市北・射水市 高岡市・小矢部市 庄川町・南砺市
建設業	23	22	96%	
小売業	40	36	90%	
サービス業	58	57	98%	
合計	150	144	96%	

(注) 本調査でのD.Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期と比較して増加（上昇、好転）企業割合と減少（低下、悪化）企業割合の差を示すものである。

産業全体

- ・ 業況判断D.Iは、前期比0.4ポイント好転し△14.7となった。
来期は0.7ポイント悪化し△15.4を予想している。
- ・ 売上額D.Iは、前期比7.9ポイント悪化し△18.1となった。
来期は4.8ポイント悪化し△22.9を予想している。
- ・ 採算D.Iは、前期比8.1ポイント好転し△21.1となった。
来期は0.7ポイント好転し△20.4を予想している。
- ・ 資金繰りD.Iは、前期比0.3ポイント好転し△12.2となった。
来期は2.9ポイント悪化し△15.1を予想している。

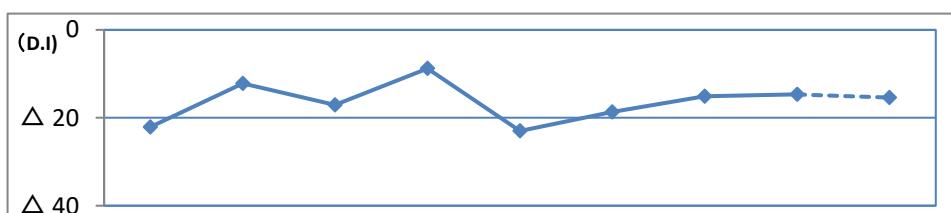
1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

[前期比、製造業・サービス業は好転、建設業・小売業は悪化]

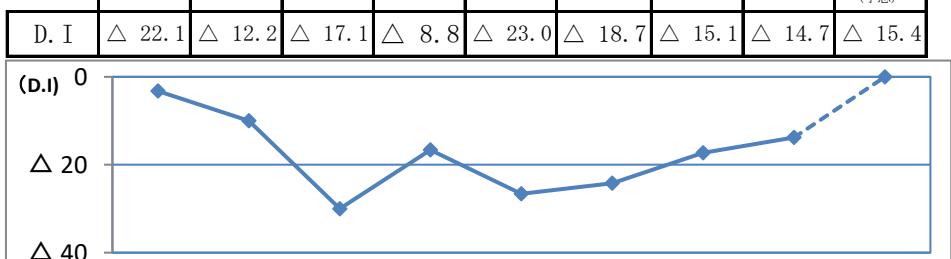
今期は、製造業△13.8（前期比+3.5ポイント）、サービス業△8.9（同+13.9ポイント）は好転し、建設業△22.8（同-22.8ポイント）、小売業△19.5（同-9.3ポイント）は悪化した。

来期は、製造業±0.0（当期比+13.8ポイント）は好転し、建設業△22.8（同±0.0ポイント）は横ばい、小売業△22.3（同-2.8ポイント）、サービス業△16.1（同-7.2ポイント）は悪化を予想している。

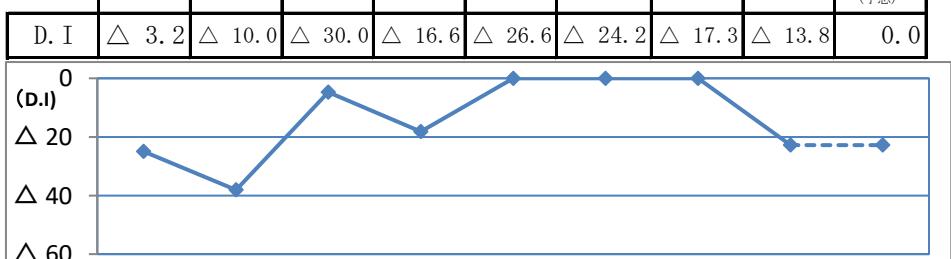
全産業



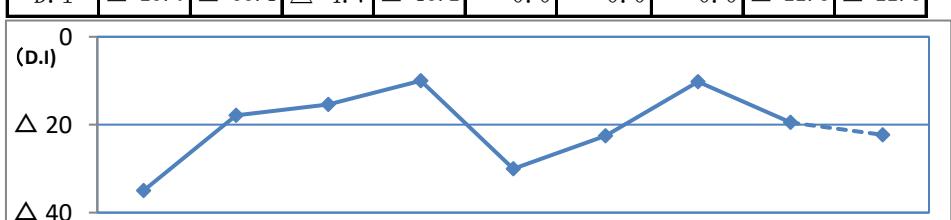
製造業



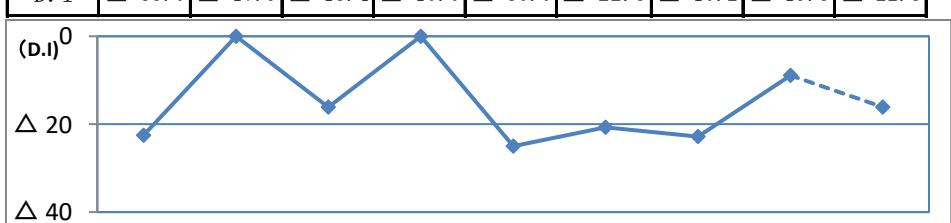
建設業



小売業



サービス業



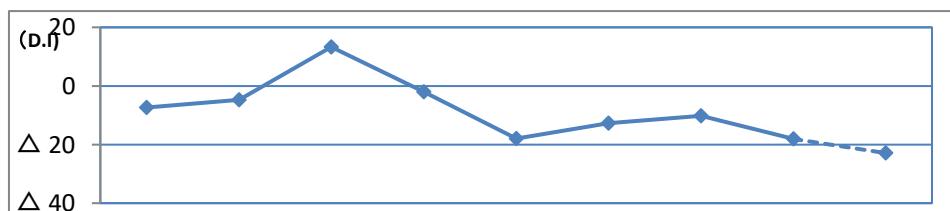
2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

[前期比、サービス業は好転、製造業・建設業・小売業は悪化]

今期は、サービス業△15.7（前期比+3.3ポイント）は好転、製造業△24.1（同-17.2ポイント）、建設業△13.6（同-18.3ポイント）、小売業△19.5（同-11.8ポイント）は悪化した。

来期は、製造業△10.4（当期比+13.7ポイント）は好転し、建設業△18.2（同-4.6ポイント）、小売業△36.1（同-16.6ポイント）、サービス業△22.8（同-7.1ポイント）は悪化を予想している。

全産業



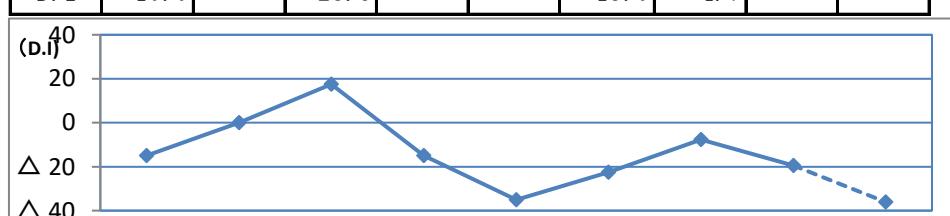
製造業



建設業



小売業



サービス業

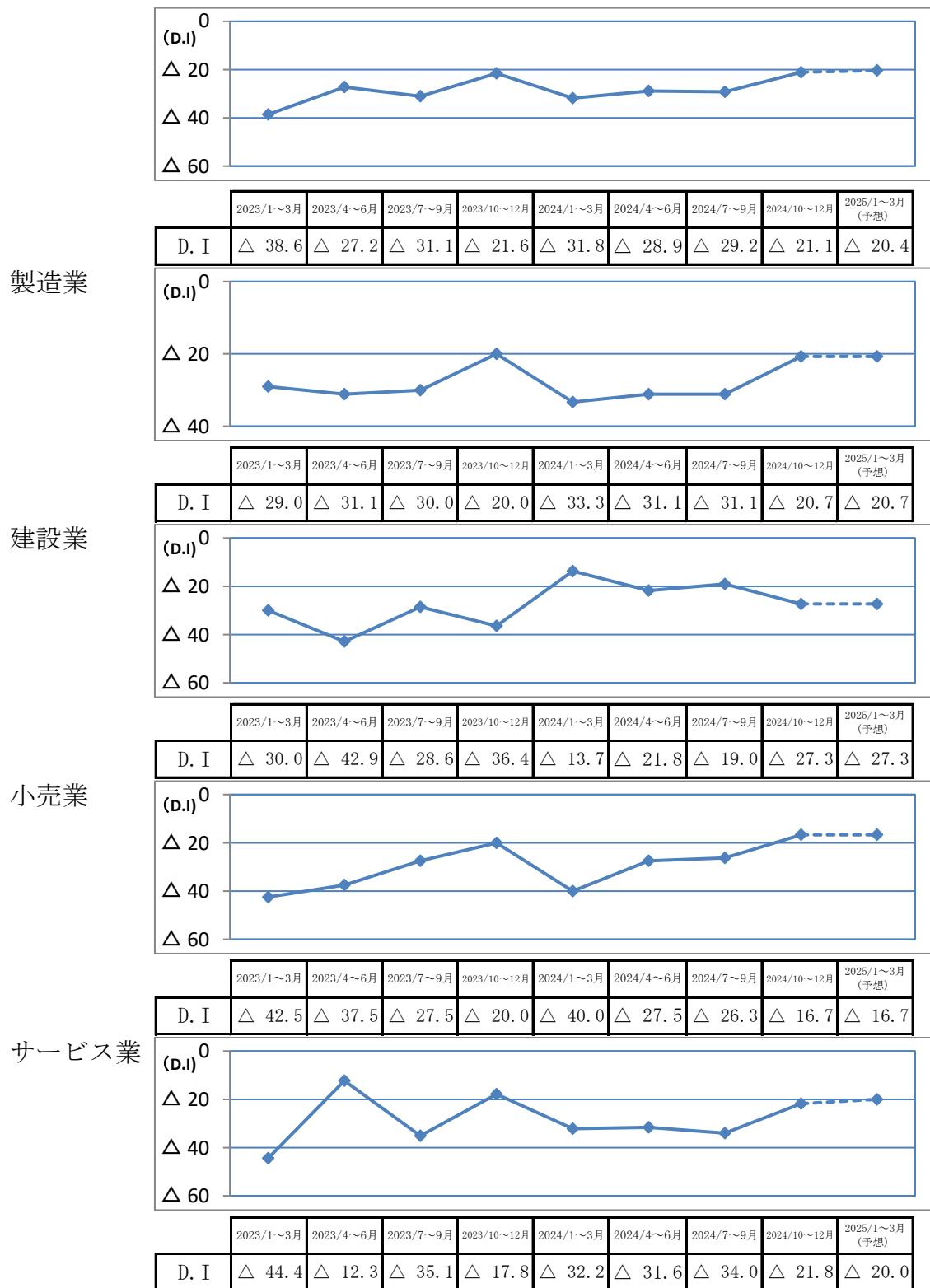


3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

[前期比、製造業・小売業・サービス業は好転、建設業は悪化]

今期は、製造業△20.7（前期比+10.4ポイント）、小売業△16.7（同+9.6ポイント）、サービス業△21.8（同+12.2ポイント）は好転、建設業△27.3（同-8.3ポイント）は悪化した。

来期は、サービス業△20.0（当期比+1.8ポイント）は好転、製造業△20.7（同±0.0ポイント）、建設業△27.3（同±0.0ポイント）、小売業△16.7（同±0.0ポイント）は横ばいを予想している。



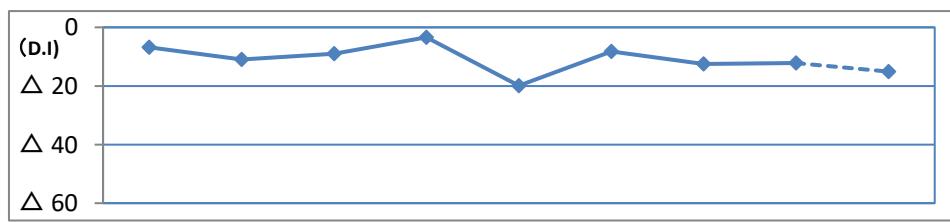
4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

[前期比、小売業は好転、製造業・建設業・サービス業は悪化]

今期は、小売業△5.7（前期比+17.4ポイント）は好転、製造業△17.8（同-0.5ポイント）、建設業△14.2（同-19.2ポイント）、サービス業△12.8（同-3.9ポイント）は悪化した。

来期は、サービス業△12.7（当期比+0.1ポイント）は横ばい、製造業△17.9（同-0.1ポイント）、建設業△19.0（同-4.8ポイント）、小売業△14.2（同-8.5ポイント）は悪化を予想している。

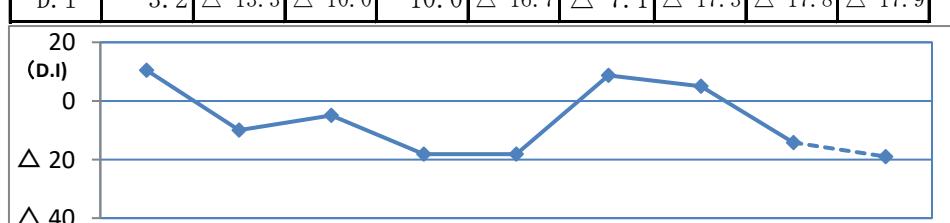
全産業



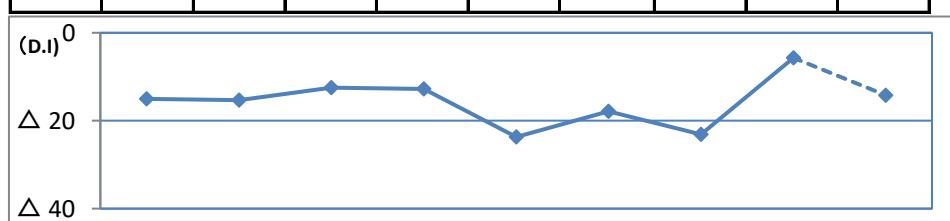
製造業



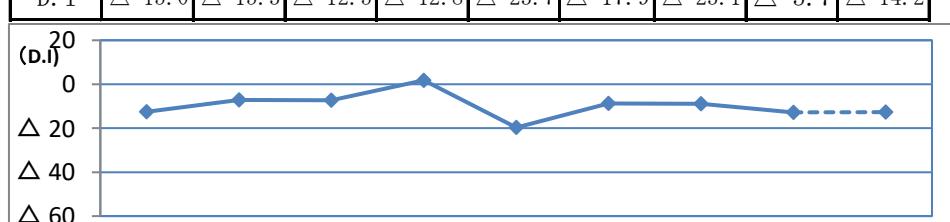
建設業



小売業



サービス業

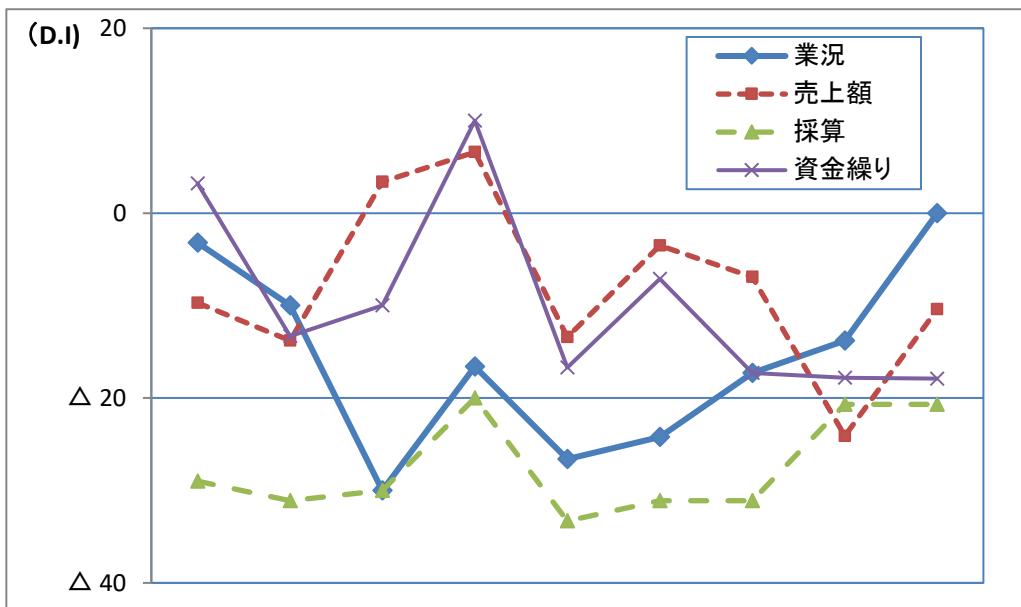


製造業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D.Iは△13.8（前期比+3.5ポイント）、売上額D.Iは△24.1（同-17.2ポイント）、採算D.Iは△20.7（同+10.4ポイント）、資金繰りD.Iは△17.8（同-0.5ポイント）であった。来期のD.Iの項目は、業況判断・売上額D.Iの項目は好転、採算D.Iは横ばい、資金繰りD.Iは悪化を予想している。

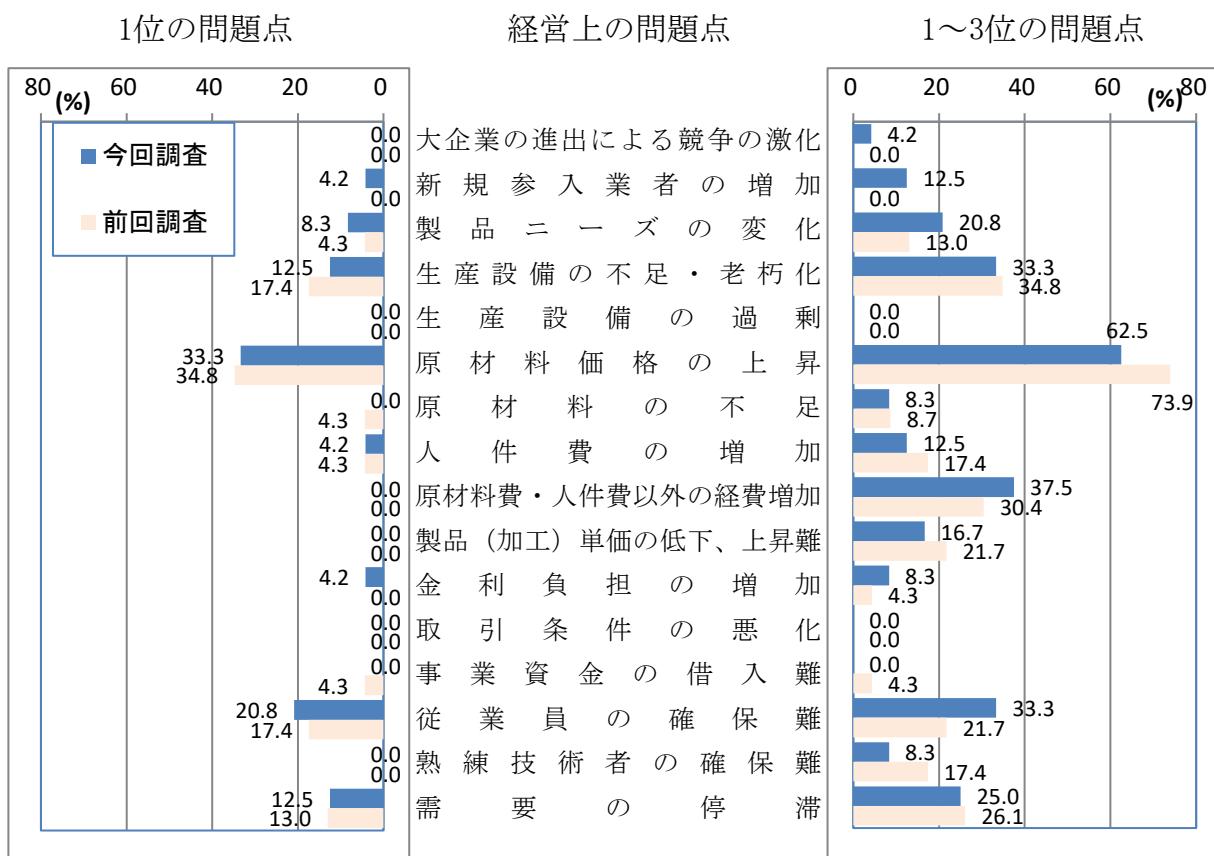
全国との比較では、本期富山県は業況判断・採算D.Iの項目で上回り、売上額・資金繰りD.Iの項目で下回った。



	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月(予想)	
業況	好転	25.8	16.7	6.7	16.7	6.7	17.2	10.3	17.2	13.8
	不变	45.2	56.6	56.6	50.0	60.0	41.4	62.1	51.8	72.4
	悪化	29.0	26.7	36.7	33.3	33.3	41.4	27.6	31.0	13.8
	D.I	△ 3.2	△ 10.0	△ 30.0	△ 16.6	△ 26.6	△ 24.2	△ 17.3	△ 13.8	0.0
	D.I(全国)	△ 17.1	△ 11.3	△ 15.4	△ 13.3	△ 16.6	△ 16.5	△ 19.3	△ 19.6	△ 13.6
売上額	好転	22.6	27.6	26.7	43.3	33.3	31.0	27.6	27.6	24.1
	不变	45.1	31.0	50.0	20.0	20.0	34.5	37.9	20.7	41.4
	悪化	32.3	41.4	23.3	36.7	46.7	34.5	34.5	51.7	34.5
	D.I	△ 9.7	△ 13.8	3.4	6.6	△ 13.4	△ 3.5	△ 6.9	△ 24.1	△ 10.4
	D.I(全国)	△ 8.7	△ 1.5	△ 5.0	△ 7.4	△ 11.6	△ 11.4	△ 13.9	△ 15.7	△ 10.8
採算	好転	12.9	10.3	3.3	13.3	10.0	10.3	3.4	13.8	6.9
	不变	45.2	48.3	63.4	53.4	46.7	48.3	62.1	51.7	65.5
	悪化	41.9	41.4	33.3	33.3	43.3	41.4	34.5	34.5	27.6
	D.I	△ 29.0	△ 31.1	△ 30.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 31.1	△ 31.1	△ 20.7	△ 20.7
	D.I(全国)	△ 29.5	△ 20.3	△ 21.9	△ 21.0	△ 22.0	△ 23.4	△ 25.0	△ 24.7	△ 19.4
資金繰り	好転	9.7	0.0	3.3	16.7	10.0	3.6	3.4	3.6	0.0
	不变	83.8	86.7	83.4	76.6	63.3	85.7	75.9	75.0	82.1
	悪化	6.5	13.3	13.3	6.7	26.7	10.7	20.7	21.4	17.9
	D.I	3.2	△ 13.3	△ 10.0	10.0	△ 16.7	△ 7.1	△ 17.3	△ 17.8	△ 17.9
	D.I(全国)	△ 17.1	△ 11.6	△ 13.8	△ 12.3	△ 15.2	△ 13.2	△ 14.7	△ 17.0	△ 13.2

2. 経営上の問題点

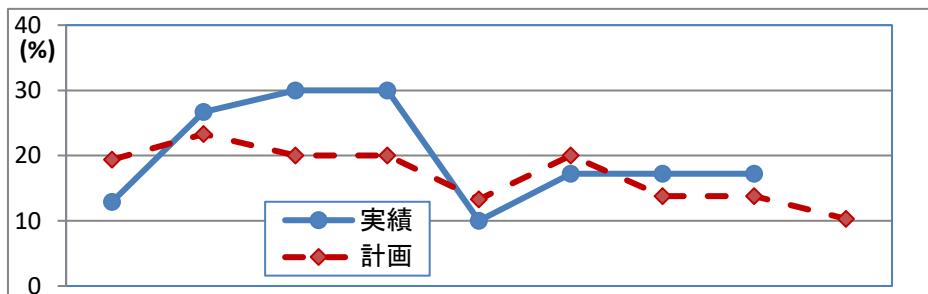
1位の問題点の上位は、①「原材料価格の上昇」(33.3%)、②「従業員の確保難」(20.8%)、③「生産設備の不足・老朽化」「需要の停滞」(12.5%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「原材料価格の上昇」(62.5%)、②原材料費・人件費以外の経費増加」(37.5%)、③「生産設備の不足・老朽化」「従業員の確保難」(33.3%)の順となった。「原材料価格の上昇」「生産設備の不足・老朽化」「従業員の確保難」等が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比横ばいの17.2%となった。
投資内容は、生産設備、工場建物、福利厚生施設、車両・運搬具、OA機器となっている。

来期計画は6.9ポイント減少の10.3%となっている。投資内容は、生産設備、工場建物、車両・運搬具、OA機器となっている。



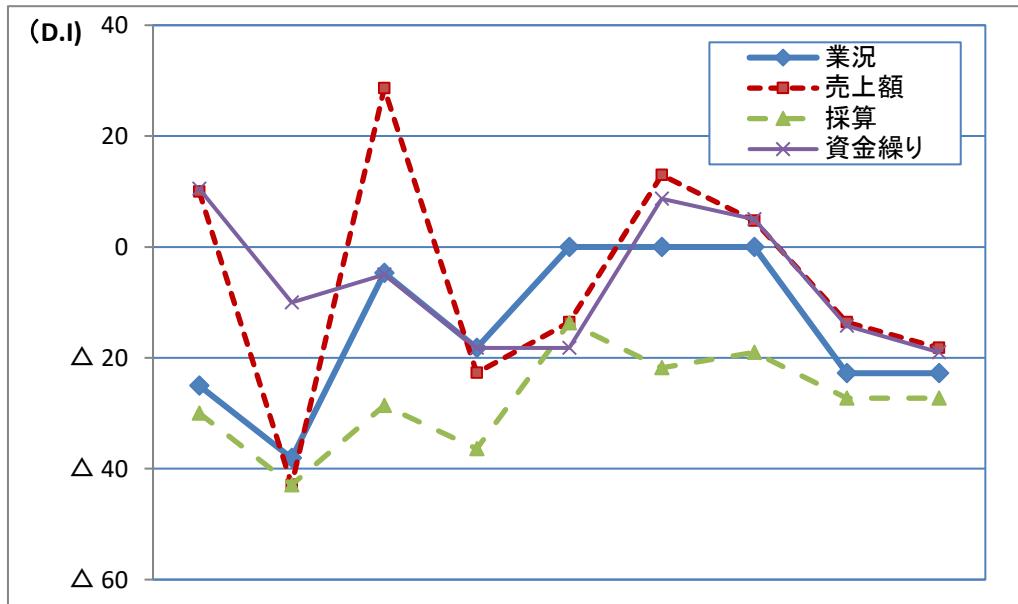
	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月(予想)
実績	12.9	26.7	30.0	30.0	10.0	17.2	17.2	17.2	
計画	19.4	23.3	20.0	20.0	13.3	20.0	13.8	13.8	10.3

建設業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D.Iは△22.8（前期比-22.8ポイント）、売上額D.Iは△13.6（同-18.3ポイント）、採算D.Iは△27.3（同-8.3ポイント）、資金繰りD.Iは△14.2（同-19.2ポイント）であった。来期は、業況判断・採算D.Iの項目は横ばい、売上額・資金繰りD.Iの項目は悪化を予想している。

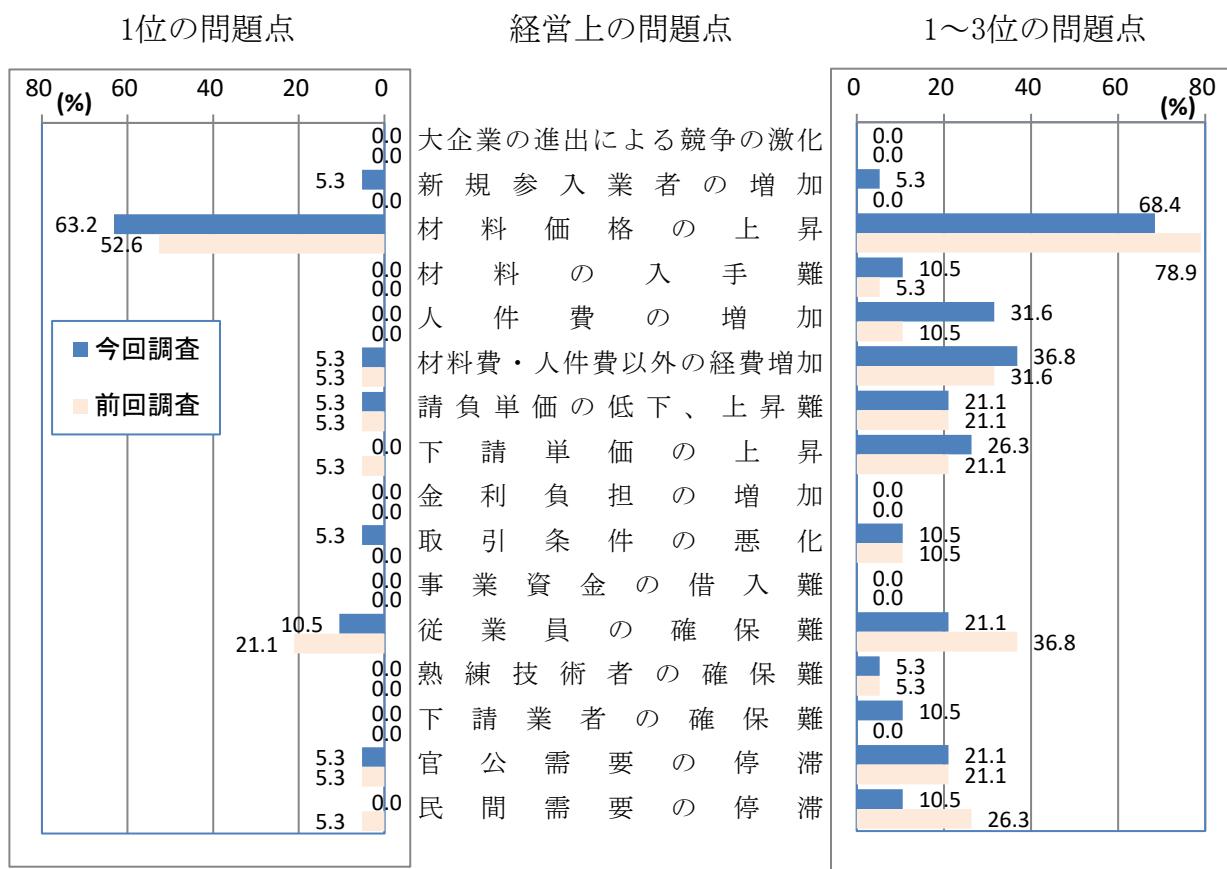
全国との比較では、本期富山県は、業況判断・売上額・採算・資金繰りD.Iの項目はいずれも下回った。



	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月	2024/7~9月	2024/10~12月	2025/1~3月(予想)	
業況	好転	10.0	9.5	14.3	4.5	18.2	13.0	14.3	4.5	4.5
	不变	55.0	42.9	66.7	72.8	63.6	74.0	71.4	68.2	68.2
	悪化	35.0	47.6	19.0	22.7	18.2	13.0	14.3	27.3	27.3
	D.I	△ 25.0	△ 38.1	△ 4.7	△ 18.2	0.0	0.0	0.0	△ 22.8	△ 22.8
	D.I(全国)	△ 20.3	△ 13.7	△ 15.6	△ 12.7	△ 15.9	△ 11.0	△ 13.7	△ 11.4	△ 13.2
売上額	好転	40.0	19.0	52.4	18.2	27.3	30.4	33.3	18.2	13.6
	不变	30.0	19.1	23.8	40.9	31.8	52.2	38.1	50.0	54.6
	悪化	30.0	61.9	23.8	40.9	40.9	17.4	28.6	31.8	31.8
	D.I	10.0	△ 42.9	28.6	△ 22.7	△ 13.6	13.0	4.7	△ 13.6	△ 18.2
	D.I(全国)	△ 15.5	△ 11.6	△ 14.0	△ 14.3	△ 15.9	△ 9.3	△ 15.2	△ 12.6	△ 16.5
採算	好転	10.0	0.0	0.0	0.0	22.7	13.0	14.3	4.5	0.0
	不变	50.0	57.1	71.4	63.6	40.9	52.2	52.4	63.7	72.7
	悪化	40.0	42.9	28.6	36.4	36.4	34.8	33.3	31.8	27.3
	D.I	△ 30.0	△ 42.9	△ 28.6	△ 36.4	△ 13.7	△ 21.8	△ 19.0	△ 27.3	△ 27.3
	D.I(全国)	△ 36.1	△ 25.8	△ 26.9	△ 25.3	△ 27.3	△ 23.9	△ 23.7	△ 21.4	△ 19.8
資金繰り	好転	15.8	5.0	0.0	0.0	0.0	13.0	10.0	4.8	4.8
	不变	78.9	80.0	95.0	81.8	81.8	82.7	85.0	76.2	71.4
	悪化	5.3	15.0	5.0	18.2	18.2	4.3	5.0	19.0	23.8
	D.I	10.5	△ 10.0	△ 5.0	△ 18.2	△ 18.2	8.7	5.0	△ 14.2	△ 19.0
	D.I(全国)	△ 12.8	△ 7.0	△ 11.4	△ 9.4	△ 13.5	△ 7.6	△ 10.2	△ 9.2	△ 11.3

2. 経営上の問題点

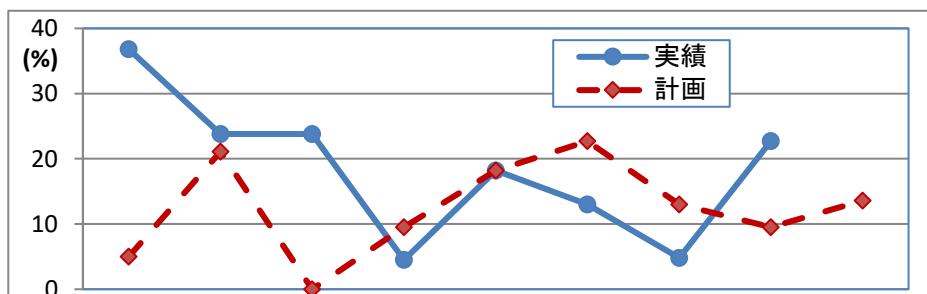
1位の問題点の上位は、①「材料価格の上昇」（63.2%）、②「従業員の確保難」（10.5%）、③「新規参入業者の増加」「材料費・人件費以外の経費増加」「請負単価の低下、上昇難」「取引条件の悪化」「官公需要の停滞」（5.3%）であった。これを1～3位までの合計でみると、①「材料価格の上昇」（68.4%）、②「材料費・人件費以外の経費増加」（36.8%）、③「人件費の増加」（31.6%）の順となった。「材料価格の上昇」「従業員の確保難」「材料費・人件費以外の経費増加」等が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比17.9ポイント増加の22.7%となった。投資内容は、車両・運搬具、建物、OA機器となっている。

来期計画は9.1ポイント減少の13.6%となっている。投資内容は、車両・運搬具、建物、付帯施設、OA機器となっている。



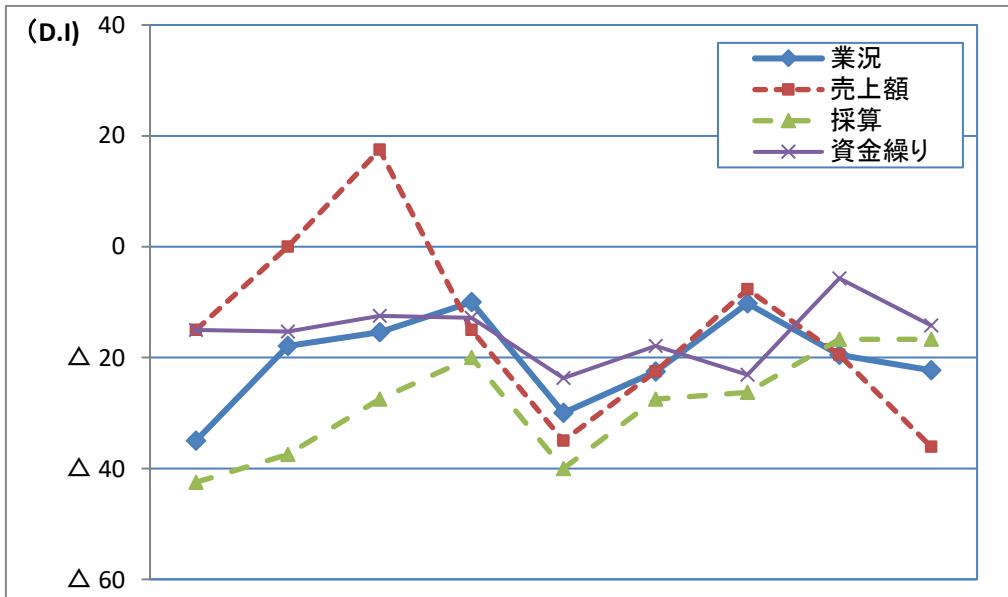
	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月(予想)
実績	36.8	23.8	23.8	4.5	18.2	13.0	4.8	22.7	
計画	5.0	21.1	0.0	9.5	18.2	22.7	13.0	9.5	13.6

小 売 業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D. Iは△19.5（前期比-9.3ポイント）、売上額D. Iは△19.5（同-11.8ポイント）、採算D. Iは△16.7（同+9.6ポイント）、資金繰りD. Iは△5.7（同+17.4ポイント）であった。来期は、採算D. Iの項目は横ばい、業況判断・売上額・資金繰りD. Iの項目は悪化を予想している。

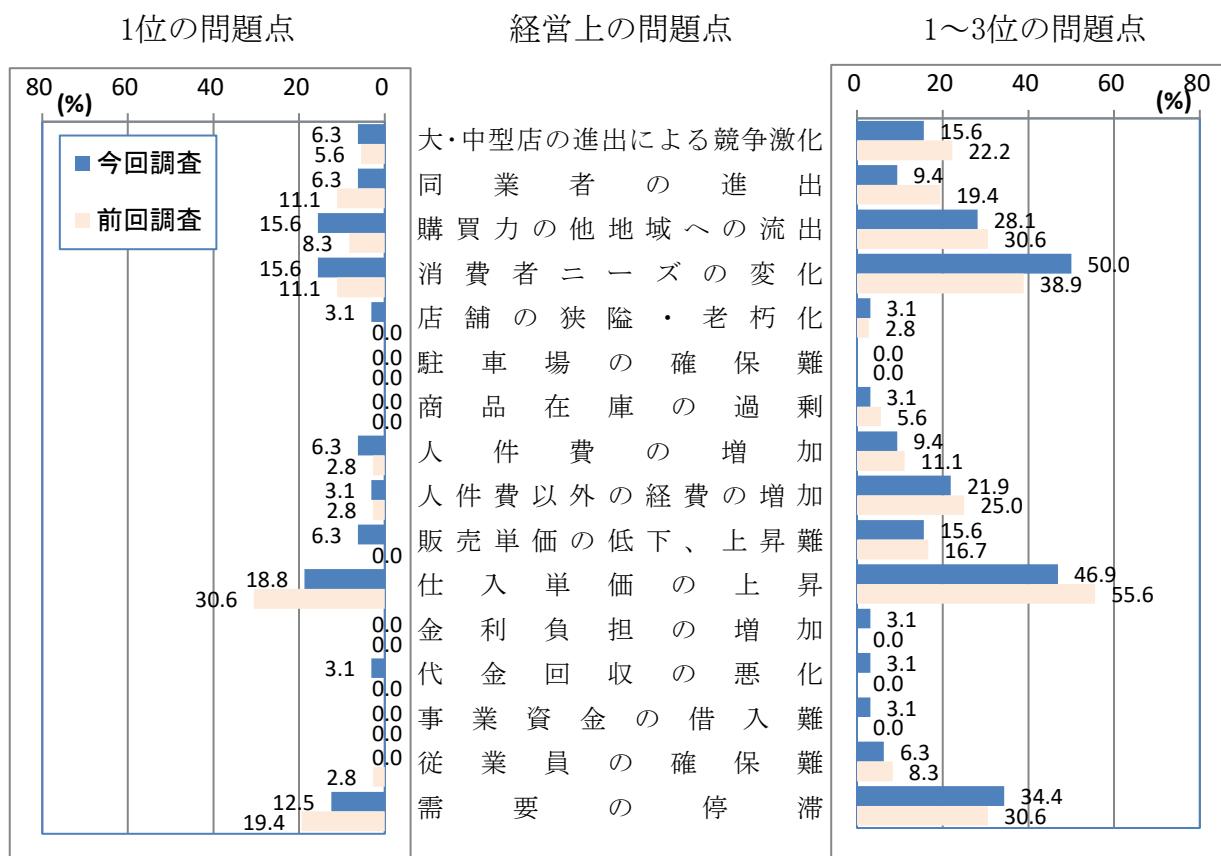
全国との比較では、本期富山県は、業況判断・売上額・採算・資金繰りD. Iの項目はいずれも上回った。



	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月 (予想)
業況	好転	10.0	7.7	12.8	10.0	5.0	7.5	15.4	8.3
	不变	45.0	66.7	59.0	70.0	60.0	62.5	59.0	61.1
	悪化	45.0	25.6	28.2	20.0	35.0	30.0	25.6	30.6
	D. I	△ 35.0	△ 17.9	△ 15.4	△ 10.0	△ 30.0	△ 22.5	△ 10.2	△ 19.5
	D. I(全国)	△ 34.7	△ 24.4	△ 29.0	△ 29.0	△ 31.0	△ 26.5	△ 27.6	△ 31.3
売上額	好転	27.5	30.0	45.0	20.0	20.0	22.5	28.2	8.3
	不变	30.0	40.0	27.5	45.0	25.0	32.5	35.9	47.3
	悪化	42.5	30.0	27.5	35.0	55.0	45.0	35.9	44.4
	D. I	△ 15.0	0.0	17.5	△ 15.0	△ 35.0	△ 22.5	△ 7.7	△ 19.5
	D. I(全国)	△ 22.8	△ 10.5	△ 12.6	△ 17.6	△ 23.2	△ 20.1	△ 21.5	△ 25.2
採算	好転	7.5	2.5	7.5	5.0	0.0	5.0	5.3	8.3
	不变	42.5	57.5	57.5	70.0	60.0	62.5	63.1	66.7
	悪化	50.0	40.0	35.0	25.0	40.0	32.5	31.6	25.0
	D. I	△ 42.5	△ 37.5	△ 27.5	△ 20.0	△ 40.0	△ 27.5	△ 26.3	△ 16.7
	D. I(全国)	△ 43.7	△ 32.6	△ 35.0	△ 33.8	△ 34.6	△ 32.1	△ 30.3	△ 30.2
資金繰り	好転	5.0	2.6	7.5	5.1	0.0	2.6	5.1	2.9
	不变	75.0	79.5	72.5	77.0	76.3	76.9	66.7	80.0
	悪化	20.0	17.9	20.0	17.9	23.7	20.5	28.2	17.1
	D. I	△ 15.0	△ 15.3	△ 12.5	△ 12.8	△ 23.7	△ 17.9	△ 23.1	△ 5.7
	D. I(全国)	△ 27.3	△ 19.5	△ 21.1	△ 22.0	△ 22.7	△ 20.2	△ 19.0	△ 20.9

2. 経営上の問題点

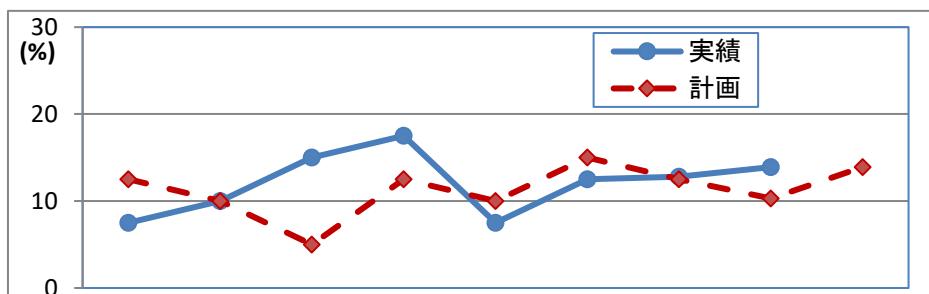
1位の問題点の上位は、①「仕入単価の上昇」(18.8%)、②「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化」(15.6%)、③「需要の停滞」(12.5%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「消費者ニーズの変化」(50.0%)、②「仕入単価の上昇」(46.9%)、③「需要の停滞」(34.4%)の順となった。「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「消費者ニーズの変化」等が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比1.1ポイント増加の13.9%となった。
投資内容は、店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

来期計画は横ばいの13.9%となっている。投資内容は、土地、店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

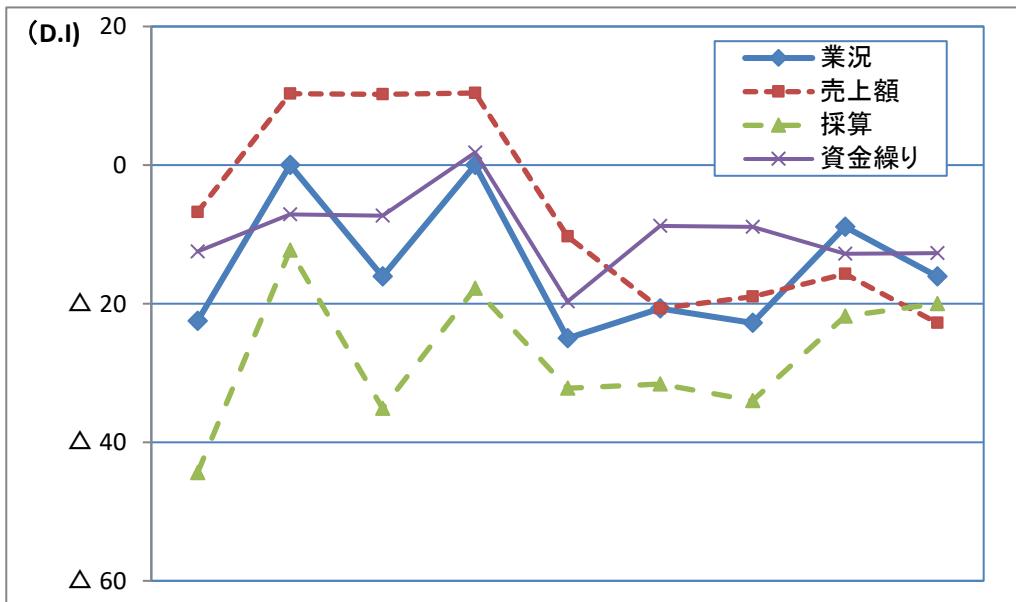


	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月 (予想)
実績	7.5	10.0	15.0	17.5	7.5	12.5	12.8	13.9	
計画	12.5	10.0	5.0	12.5	10.0	15.0	12.5	10.3	13.9

サービス業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D.Iは△8.9（前期比+13.9ポイント）、売上額D.Iは△15.7（同+3.3ポイント）、採算D.Iは△21.8（同+12.2ポイント）、資金繰りD.Iは△12.8（同-3.9ポイント）であった。来期は、採算D.Iの項目は好転、業況判断・売上額D.Iの項目は悪化、資金繰りD.Iの項目は横ばいを予想している。全国との比較では、本期富山県は、業況判断・採算D.Iの項目で上回り、売上額・資金繰りD.Iの項目で下回った。



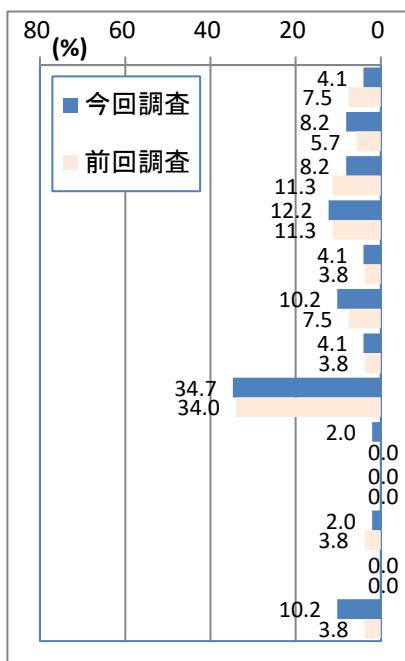
	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月(予想)	
業況	好転	10.3	19.0	10.7	21.4	10.7	13.8	7.0	10.7	7.1
	不变	56.9	62.0	62.5	57.2	53.6	51.7	63.2	69.7	69.7
	悪化	32.8	19.0	26.8	21.4	35.7	34.5	29.8	19.6	23.2
	D.I	△22.5	0.0	△16.1	0.0	△25.0	△20.7	△22.8	△8.9	△16.1
	D.I(全国)	△21.5	△1.7	△5.6	△11.4	△15.5	△11.4	△12.4	△14.1	△13.5
売上額	好転	23.7	36.2	37.3	32.8	27.6	17.2	15.5	21.1	15.8
	不变	45.8	37.9	35.6	44.8	34.5	44.9	50.0	42.1	45.6
	悪化	30.5	25.9	27.1	22.4	37.9	37.9	34.5	36.8	38.6
	D.I	△6.8	10.3	10.2	10.4	△10.3	△20.7	△19.0	△15.7	△22.8
	D.I(全国)	△2.6	14.5	14.0	5.1	△3.7	△0.9	△1.0	△6.1	△6.4
採算	好転	3.7	19.3	5.3	14.3	7.1	10.5	7.1	9.1	7.3
	不变	48.2	49.1	54.3	53.6	53.6	47.4	51.8	60.0	65.4
	悪化	48.1	31.6	40.4	32.1	39.3	42.1	41.1	30.9	27.3
	D.I	△44.4	△12.3	△35.1	△17.8	△32.2	△31.6	△34.0	△21.8	△20.0
	D.I(全国)	△38.2	△21.8	△21.5	△23.2	△26.5	△24.1	△22.1	△25.5	△21.9
資金繰り	好転	3.6	3.6	0.0	7.3	7.1	7.0	3.6	3.6	1.8
	不变	80.3	85.7	92.7	87.2	66.1	77.2	83.9	80.0	83.7
	悪化	16.1	10.7	7.3	5.5	26.8	15.8	12.5	16.4	14.5
	D.I	△12.5	△7.1	△7.3	1.8	△19.7	△8.8	△8.9	△12.8	△12.7
	D.I(全国)	△18.4	△8.5	△10.1	△10.6	△15.9	△10.9	△11.3	△12.7	△12.1

2. 経営上の問題点

1位の問題点の上位は、①「材料等仕入単価の上昇」（34.7%）、②「店舗施設の狭隘・老朽化」（12.2%）、③「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」（10.2%）であった。これを1～3位までの合計で見ると、①「材料等仕入単価の上昇」（73.5%）②「人件費以外の経費の増加」（42.9%）、③「店舗施設の狭隘・老朽化」（36.7%）の順となった。

「材料等仕入単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」「店舗施設の狭隘・老朽化」等が上位に定着している。

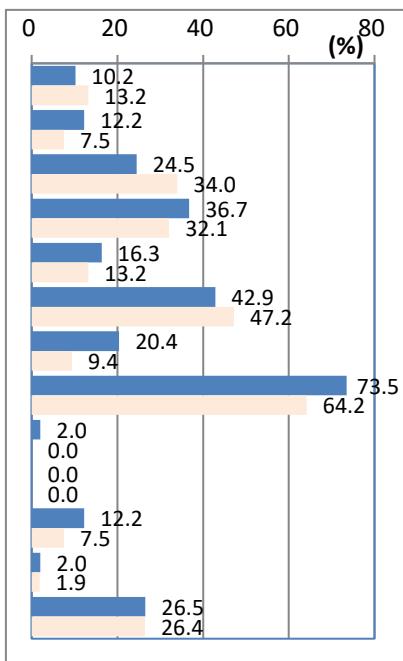
1位の問題点



経営上の問題点

大企業の進出による競争の激化
新規参入業者の増加
利用者ニーズの変化
店舗施設の狭隘・老朽化
人件費の増加
人件費以外の経費の増加
利用料金の低下、上昇難
材料等仕入単価の上昇
金利負担の増加
事業資金の借入難
従業員の確保難
熟練従業員の確保難
需 要 の 停 滞

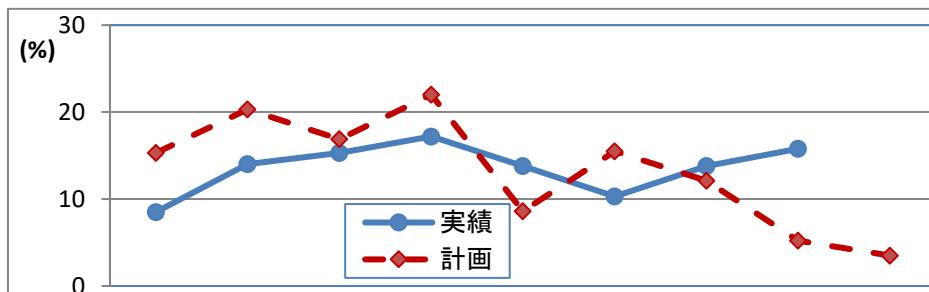
1～3位の問題点



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比2.0ポイント増加し15.8%となった。
投資内容は、建物、サービス、車両・運搬具となっている。

来期計画は12.3ポイント減少の3.5%となっている。投資内容は、車両・運搬具、付帯施設となっている。



	2023/1～3月	2023/4～6月	2023/7～9月	2023/10～12月	2024/1～3月	2024/4～6月	2024/7～9月	2024/10～12月	2025/1～3月(予想)
実績	8.5	14.0	15.3	17.2	13.8	10.3	13.8	15.8	
計画	15.3	20.3	16.9	22.0	8.6	15.5	12.1	5.2	3.5